

インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年6月26日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講8
「復興の戦い」

ネヘミヤ記4章6-14節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記4章6-14節

6 こうして、
私たちは城壁を建て直し、
城壁はみな、
その高さの半分まで
継ぎ合わされた。
民に働く気があったからである。

7 ところが、サヌバラテ、トビヤ、
アラブ人、アモン人、
アシュドテ人たちは、
エルサレムの城壁の修復が
はかどり、
割れ目もふさがり始めたことを
聞いたとき、
非常に怒り、

8 彼らはみな共に
エルサレムに攻め入り、
混乱を起こそうと陰謀を企てた。

9 しかし私たちは、
私たちの神に祈り、
彼らに備えて
日夜見張りを置いた。

10 そのとき、ユダの人々は言った。

「荷をになう者の力は

衰えているのに、

ちりあくたは山をなしている。

私たちは城壁を築くことは

できない。」

11 一方、私たちの敵は言った。

「彼らの知らないうちに、
また見ないうちに、
彼らの真ん中に入り込んで、
彼らを殺し、
その工事をやめさせよう。」

12 そこで、

彼らの近くに住んでいた
ユダヤ人たちがやって来て、
四方から十回も私たちに言った。

「私たちのところに
戻って来てほしい。」

13 そこで私は、
民をその家族ごとに、
城壁のうしろの低い所の、
空地に、
剣や槍や弓を持たせて配置した。

14 私は彼らが恐れているのを見て
立ち上がり、
おもだった人々や、代表者たち、
およびその他の人々に言った。
「彼らを恐れてはならない。
大いなる恐るべき主を覚え、
自分たちの兄弟、息子、娘、妻、
また家のために戦いなさい。」

説教

ネヘミヤ記連講8

「復興の戦い」

ネヘミヤ記4章**6-14**節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「私は彼らが恐れているのを見て
立ち上がり、
おもだった人々や、代表者たち、
およびその他の人々に言った。

『彼らを恐れてはならない。
大いなる恐るべき主を覚え、
自分たちの兄弟、息子、娘、妻、
また家のために戦いなさい』」

(ネヘミヤ4：14)

1. これまで（1：1－4：6）
の要約
（「ネヘミヤ記」メモ参照）

- ネヘミヤの時代
（BC5世紀半ば）と使命
（エルサレムの城壁再建）
- 城壁再建の着工と
反対者達の嘲笑

2. ユダ包囲網の形成 (7-8節、地図参照)

【ネヘミヤ時代のユダ①】

サマリヤ

ベテ・ホロン

アモン

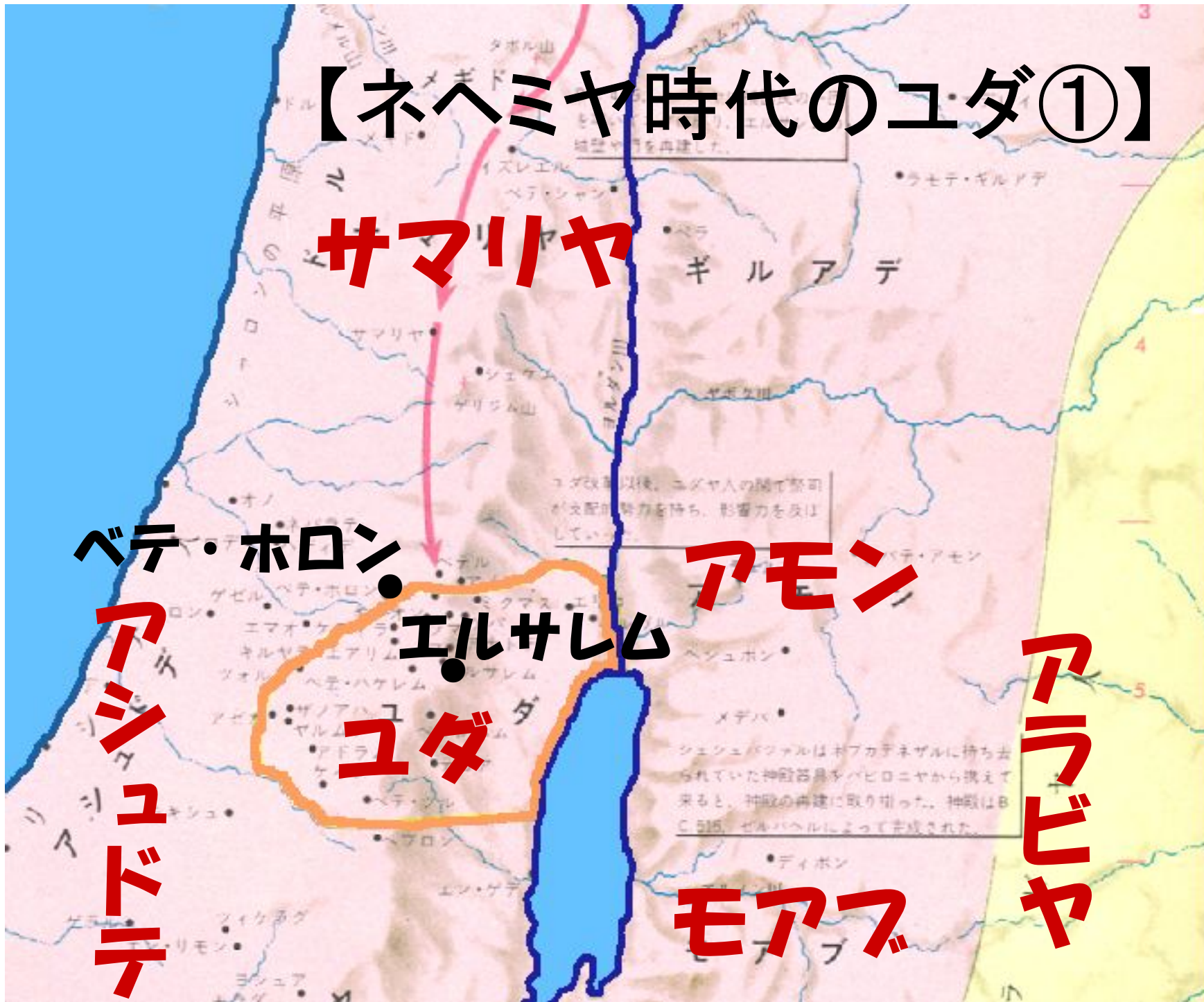
エルサレム

ユダ

アッシリヤ

アラビヤ

モアブ



- 東西南北諸部族による
反ユダヤ同盟

- 武力行使の企み：
「混乱を起こそう」(8節)
「工事をやめさせよう」(1 1節)
という意図をもって

3. 労働者の不安

- ・ 工事の進捗：

「城壁はその高さの半分まで」
(6節)

「割れ目もふさがり始め」
(7節)

- ・ 労働の重荷 (10節)

- ・ 武力行使の「可能性」に脅える
(12節)

4. ネヘミヤの対応

- ・ 祈りと見張り（9節）：
そのバランスに注目
 - ・ 自衛団の配備
（13節、15節以下）
 - ・ 「主のため、家族のため」との
モチベーションを与える
（14節）
- 驚くべき短期間で完成(6：15)

終わりに：

私たちの生活・奉仕・仕事に
使命意識・祈り・知恵を
活かそう！